



市民の声を正しく美しく伝え実行！！

池上まさみ 通信

ワクチン接種進行中！！

2021年7月発行 発行者 池上まさみ後援会
〒321-4323 真岡市東沼1564番地2
TEL・FAX 0285-82-6324
E-mail: yume@ikegami-masami.com

新型コロナウイルスによる感染が発見されてから2年目を迎えました。その間、全世界に感染が拡大し、日本でも感染者数約80万人、死者は約1万5,000人と大変な問題となりました。その間「緊急事態宣言」が度々出され、そして「まん延防止等重点措置」も出され3密を避けるよう様々な対策が出されました。しかし、感染者数ではリバンドが見られ、新型株も次々と発見されるなど、なかなか収束がつかない状態が続いております。

そのような中で、オリンピックやパラリンピックに加え衆議院選挙などの大きなイベントも控えており、多くの人流による更なる感染が懸念されております。新型コロナウイルスの対策の有効手段として、陽性になっても重篤にならないように免疫を高める為の予防ワクチン接種が始まりました。当初は、年内に2回接種が完了できるか、供給量や接種場所の心配もありましたが、集団接種や職域接種に加え、大規模接種がはじまり、ほぼ順調に推移してきました。65歳以上のワクチン接種率では、栃木県は全国で比べるとワーストの現状ですが、本市は県内25市町中で、第1位と進行中で、宇都宮市に比べてみれば1回目では、約2倍の接種率であり早期の完了が見込まれ、次の代に推移できると思われれます。これからも市議会議員として、市民の皆様方が少しでも安全安心して暮らしていけるよう市政のチェック機関としての役割を忘れずに、さらに皆様のご意見・ご要望をお聞きして議会へ反映させていただきます。

「産業・建設常任委員会」委員長を拝命

5月18日(火)の市議会臨時議会において開催された産業・建設常任委員会で、互選により全員一致で委員長に選出されました。長年、民生・文教常任委員会に関わってきましたが、今回新しく道路関係はもとより農業関連そして、経済分野まで幅広く携わってまいります。コロナ禍において産業・経済は特に疲弊しており大変な時期ではありますが、その分やり甲斐もあると思います。皆様の更なるご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

委員会メンバーは以下の通りです。

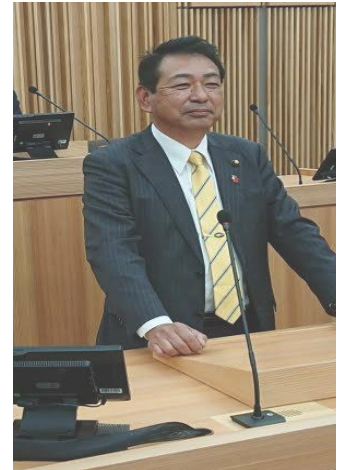
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| ◎委員長 | 池上 正美 | ○副委員長 | 櫛毛 隆行 |
| ・委員 | 飯塚 正 | ・委員 | 星野 守 |
| ・委員 | 野沢 達 | ・委員 | 七海 朱美 |
| ・委員 | 柳田 尚宏 | | |



登壇させて頂きました。6/14 13:00~

6月定例議会は、6月7日(月)から6月23日(水)に渡って行われました。今議会の執行部からの議案は、①真岡市副市長の選任につき同意をもとめることについて ②真岡市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について ③真岡市手数料徴収条例の一部改正について ④真岡市国民健康保険条例の一部改正について ⑤令和3年度真岡市一般会計補正予算(第7号、第8号)について ⑥市道路線の認定について ⑦真岡市防災ラジオの取得について等々、12議案が提出され、いずれも全議案可決されました。

質疑・一般質問は、14日に5名・15日に5名の計10名の議員が登壇し、私は次の4件について質問しました。



*紙面上の関係で質問内容や再質問につきましては、一部省略させていただいております。

1件目 新型コロナ禍における対応について

【答弁者】野澤総合政策部長 仁平健康福祉部長

(1) ワクチン接種にあたっての問題と対応は

質問 他の自治体では、同じ日に2回接種をするなど実態が報告されているが、本市ではどのような問題があり、対応しているのか。

- 集団接種においてワクチン希釈ミスの可能性があった為1瓶6回分(6人分)を廃棄しました。次期以降に使用予定のワクチンを補充し、予約者全員には滞りなく接種しました。その他の問題は今のところありません。



質問 今後の再発防止についてはどのようになっているのか。

- ワクチン充填時は、複数人による確認の徹底に努め再発防止をしていきます。

(2) 情報の見える化について

質問 問題や課題等が発生した時はどう対応していくのか。

- 今後、問題や課題が発生した時は、積極的に情報を発信して「見える化」に努めてまいります。

要望

高齢者は、予約時間前に接種場に余裕をもって移動する傾向がある為に、集団接種場において炎天下時に階段等で多くの高齢者が待機している光景が見られるため、テントや屋内の涼しいところで待機できる対応を要望する。また、予約方法についても更なる見える化をお願いします。

(3) 消毒対応について

質問 いちごバスやいちごタクシー等では、様々な多くの人を乗車させているが、消毒に対して市はどのような指導・監視をしているのか。

- 運行委託事業者に対して、出発前、帰着時、待機時間に車内の消毒を行うように指導しております。また、運転手のマスク着用をはじめ、乗客にもお願いし、適宜換気を徹底して、車内に手指消毒液を設置している。
- 運行委託業者へは適切に実行されているか適宜確認をしている。

(4) 陽性者の対応について

質問 自宅療養をしている新型コロナウイルス感染症陽性者の、災害時対応マニュアルなどは作成してあるのか。

- 本市の陽性者対応は感染症法に基づき県東健康福祉センターが担っており、災害時においても隔離措置などを適切に同センターにおいて対応するとのことです。マニュアルは現時点では作成していない。しかしながら、感染者が増加し、自宅療養が増える状況を鑑み県東健康福祉センターと陽性者対応について十分に協議していく。

【答弁者】 石坂市長
加藤総務部長

2 件目 公共施設管理計画について

(1) 現図書館の動向について

質問 市には多くの公共施設整備計画があるが、取壊し後の計画はすべて後づけである。現図書館についても取壊しするのか。利活用する等検討を進めるべきではないか。



- 現真岡市立図書館は築39年が経過し、屋上防水 外壁劣化による雨漏りや空調設備の機能低下により施設の老朽化が進行している。今後バリアフリー化の改修も必要になることから、今後「真岡市公共施設再配置計画」の見直しの中で除却（取壊し）および利活用について検討していく

(2) 廃校後の小学校校舎管理状況について

質問 廃校舎内の水道やトイレ等の配管や空調設備等の維持管理はどのように管理しているのか。

- 廃校舎内の水道やトイレなどの配管の維持管理は、1週間に1回程度で校舎内見回りを実施し、必要に応じて修繕を行っている、また、空調設備は、使用時期ごとに作動確認を行い異常がないか確認している。

(3) 空き公共施設（土地を含む）について

質問 公共施設も空いている施設や土地については、広く企業や個人に広報して利用できるように見える化してはどうか。



- 老朽化している建物は、利活用が見込めるかを検討し、見込めない場合は除却しており、現在は廃校の旧中村南小と旧東沼小があるが、現在利用者の募集について準備中である。空き公共の土地については、公共施設用地として利活用が見込めない場合は、HPやウィークリーニュースもおか等に掲載し公売していく。

3 件目 犬・猫等ペットについて

【答弁者】石田市民生活部長

(1) 犬や猫の飼育数と犬の登録数について

質問 市内にはどれくらい犬や猫が飼育され、犬の登録はどれくらいされているのか。

- 令和3年5月現在で、犬は4,303頭であり、猫は登録義務がない為、推測では約5,150匹と推測される。 (真岡市の全世帯数で見ると約1/3世帯で飼育)

(2) 犬・猫の避妊に対する補助金の利用実態について

質問 避妊に対しての補助金の利用状況と他市と比べての比率的にはどうなのか。

- メス犬は5,000円/頭、メス猫は3,500円/匹で令和2年度は、犬が45件、猫が265件合計で319件、補助金額合計では115万円で、避妊実施率は県内12市平均53%に対して、本市は38%と下回っています。 (野良犬猫の繁殖要因)

(3) 狂犬病予防注射の実態と未実施へのフォローについて

質問 狂犬病予防注射は法律で義務づけられているが実施率はどれくらいなのか。

- 毎年2回集合注射(1,279件)と動物医院での個別注射(1,723件)であり、合計では、3,002件で接種率は69%であり、未実施犬に対しては飼い主に個別に案内し、HPや広報誌で周知を行っている。 (飼い主のより一層のマナー向上策を要望)

(4) マイクロチップ(鑑札チップ)の導入計画について

質問 迷子犬や、登録を確実にするために鑑札チップ導入計画は進展しているのか。

- 2022年6月から動物愛護法の改正で、新規に犬猫を販売するものは義務付けられるが、従来の登録している犬には努力義務の為、今後の国や県の動向を注視し、新制度へ図っていく。

4 件目カーボンニュートラルについて

【答弁者】石坂 市長

加藤 総務部長

石田 市民生活部長

(1) ゼロカーボン市区町村協議会の加盟について

質問 県内でも3市1町の自治体が加盟しているが本市の考えは。

- 2050年温室効果ガスの排出ゼロの政府目標がありますが、具体的な行動計画の策定や達成の目算があってから加盟には表明すべきと考えている。

(2) カーボンニュートラルに向けた計画について

質問 市として具体的なカーボンニュートラルに向けた計画や動きはないのか。

- 住宅用太陽光発電設備補助や里山林の保全、環境学習会の開催に加え、今迄焼却されていた落ち葉や剪定枝を堆肥化し、今年3月に10年間を計画期間とする「真岡市役所地球温暖化防止実行計画2021」を策定した。

(3) 公用車の電気自動車等の随時入れ替えの考えについて

質問 カーボンニュートラル実現に向けた、電気自動車や水素自動車等の今後導入していく考えはないのか。

- 現在2台の電気自動車、4台のハイブリッド車を導入しており、電気自動車導入に関しては、利用用途、大きさ、性能、価格などを考慮し導入を検討していく。

